「河川技術・流域管理分野 指定型課題」
(令和4年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
流域治水検討用一体型モデルの開発と実用化に関する研究	滋賀県立大学 瀧 健太郎	A
<p><研究概要></p> <p>田んぼダムやため池貯留、雨水貯留浸透施設、二線堤をはじめとする各種流出抑制対策の効果を適切に評価可能な、流域治水検討用一体型モデルを開発する。既存の流出/洪水流モデル及びその連結法について、流域治水の観点から機能追加・改良をすることを基本とする。また、複数流域にて実証実験を踏まえた試行錯誤を行い、河川区域外の流出抑制対策の技術的不確実性を明らかにし、現行河川計画制度を踏まえた実務適用法を提案する。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B: 一定の研究成果があった。

C: 研究成果があったとは言い難い。